

愛媛大学 新型コロナウイルス感染症に対する BCP
キャンパス^注内における研究活動 BCP (令和2年4月15日版)

※BCP：Business Continuity Plan（事業継続計画）

目的：教職員、学生ならびにその家族の健康と安全を確保しつつ、安心して研究活動を行うことのできる環境を維持すること。

目標：（１）大学における感染の連鎖を防止すること。
（２）例年と同程度に研究活動を推進すること。

戦略：感染の状況（以下の各ステージ）に応じて、安全を確保し、3密の状態を避けながら適切な環境で研究（以下「安全環境下に研究」）を積極的に推進する。

キャンパス毎に以下のステージを設定する。

ステージ	状況	研究活動の実施方針
レッド	緊急事態宣言に基づく愛媛県知事による外出自粛要請，又は大学の施設使用停止要請があった場合	安全環境下に研究を実施する。 教職員の学内施設（実験室・ゼミ室・共同利用施設等）の使用を禁止する。 全ての学生の登校を禁止し，学生は自宅にて研究を実施する。
オレンジ	愛媛大学の学生や教職員に複数の感染者が出現し感染拡大の可能性が高い場合，又は愛媛県内で感染源が特定できない感染者が多発した場合	安全環境下に研究を実施する。 教職員は，緊急性のある必要不可欠な場合のみ，学内施設が利用できる。 学生は，自宅にて研究を実施する。
イエロー	愛媛県内の新規感染者増加数が一日数名～10名程度で安定的に推移している場合，又は，県内において感染の拡大の恐れがあると判断される場合	安全環境下に研究を実施する。 学生は出来る限り自宅にて研究を実施する。ただし，感染防御に十分配慮しつつ学内施設を利用することが出来る。
グリーン	感染症拡大がほぼ収束した状況	感染防御に配慮しつつ，従来通りに研究を実施する。

注 危機対策本部長が許可した場合はこの限りでない。

注 キャンパスは，4つのメインキャンパス（城北，重信，樽味，持田）及び各遠隔施設（地域協働センター，附属農場など）をいう。